

「世界最大のイノベーションの展示会 CES」

蟬本 睦

<年明け早々のロケットスタート>

米国は新年早々展示会が目白押しです。テクノロジーとイノベーションの見本市、CES が 1 月 5 日に開幕し、8 日までの 4 日間、ラスベガスにて開催されました。

CES はその名 (Consumer Electronics Show) のとおり、元々は家電の展示会でしたが、現在では、世界を代表するテクノロジーとイノベーションの展示会となっており、多くの国からの出展と来場があるグローバルなイベントとなっています。なお、1 月 3 日、4 日はプレスデーとなっており、報道陣やプレスに開放されていますので、実質的にはすでに三が日には展示会がオープンしています。

<2つの会場に跨る4つのショー>

CES はラスベガス・コンベンションセンター (LVCC) とベネチアン・コンベンション&エキスポセンター (Venetian Expo) という2つの巨大な展示会場をフルに活用し開催されました。LVCC では 2021 年に増設された西ホールだけで、13 万平方メートルと東京ビッグサイト (約 11 万平方メートル) よりも大きいことから、いかに巨大であったかということが分かると思います。

LVCC においては、南館・北館にて、LG やサムスン、ソニー、キャノン、ニコンといった家電やカメラ、さらには、ゲーム、VR などの会社が出展していました。そして、西館ではモビリティをテーマに、自動車や船舶、航空機関連の技術が展示されていました。



【中国家電ブランド Hisense のブース】

Venetian Expo では、1 階には Eureka Park という主にスタートアップの企業群が集められているエリアとなっており、ここは主要国が多くのパビリオンを設置、日本もジェトロが組織した 36 社のスタートアップ企業が出展していました。そして同 Venetian の 2 階は、ライフスタイルに関する様々な技術、テクノロジーに関連する企業が参加していました。それぞれが 1 つの展示会として成り立ち、4 つの展示会が同時期に開催されていたと言ってもいいほどの大きさと人の入りでした。

<ラスベガス空港での長蛇の列>

筆者は CES 最終日、1 月 8 日 (日) にシリコンバレーに移動すべく、夕刻空港に向かいましたが、セキュリティチェックのラインに長蛇の列ができており、なんと空港ロビーを飛び出して外まで繋がっているほどでした。結局 2 時間強並ぶこととなりました。CES のバッジをつけたまま並んでいる方も多くいて、いかに多くの来場者が CES を訪れていたかが分かります。



【先が見えないくらい、ラスベガス空港における長蛇の列】

<2024 年は 1 月 9 日開幕>

2024 年は 1 月 9 日~12 日の 4 日間の開催となっています。ホテルや航空機も予約しにくくなりますので、もし来年の CES を訪問される場合は (是非お勧めしますが)、年末年始からすぐということもあり、早めに予約されることをお勧めします。